

## 平成26年度事業計画書

平成26年 5月26日

公益財団法人 名勝依水園・寧楽美術館

平成26年度（平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日）事業計画の概要

昨年に引続き平成15年より開設した「名勝依水園整備委員会」の指導に基づいた庭園整備事業を行う。平成26年度の補助金事業（事業期間は平成26年6月～平成27年3月）（2,600万円（うち自己負担520万円）見込み）により、管理棟およびトイレの内装ならびに園路整備を予定している。これにより平成25年度から2年度にわたった管理等およびトイレの工事が完了する。これら事業の完了により、入園・入館者の増加が見込めるよう、広報宣伝活動等の尚一層の努力をしたい。

美術館では、4月1日より9月15日まで企画展「優美なる韓国陶磁の世界-洗練の変遷-」、特設コーナー「中国の印章・鏡」を開催する。また4月1日より14日まで重要文化財「亦復一楽帖」（江戸時代・田能村竹田）第二図「水天空濶」を、特別陳列する。

10月から12月までは上期に引き続き、個人蔵の美術品を含む陶磁他の韓国美術品に関する企画展を開催する。平成27年1月から3月までは公益財団法人郡山城史跡・柳沢文庫保存会との共催で、柳沢吉保没後300年にちなむ「柳沢吉保展」を、当館の吉保にちなむ収蔵品をまじえた展示により、開催する。11月1日より14日まで重要文化財「亦復一楽帖」（江戸時代・田能村竹田）第三図「屏居山中」を特別陳列する。

平成20年5月に設立された「寧楽（なら）と依水園を愛でる会」（メンバーは依水園を支援する、県内大学関係者、元県観光関係者、元マスコミ関係者等）と財団との共催で、「依水園文化講演会」を、昨年度に続き今年度も2回開催の予定である（1回目は5月17日「まちの魅力・水門町から奈良きたまちへ」（講師 倉橋みどり氏（編集者・NPO法人文化創造アルカ理事長））。また庭師の人材育成の為に開講している「庭園大研究会」を今年度も継続して開催する。

今後も公益財団法人として公開収入の増額を目指すとともに、魅力ある観光スポットとして前向きに企画をたてて大勢の入園・入館者に喜んでいただけるように努めたい。

以上

予算書（正味財産増減方式）

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

（単位：円）

科 目	当年度予算 (26.4.1~27.3.31)	前年度予算 (25.4.1~26.3.31)	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益				
基本財産受取賃貸料	2,630,000	3,650,000	△ 1,020,000	一部返還による家賃減
事業収益				
入園料収入	21,000,000	21,000,000	0	
書籍等売上	500,000	200,000	300,000	
飲食売上高	10,000,000	12,000,000	△ 2,000,000	
貸席料収入	250,000	250,000	0	
その他事業収入	455,000	455,000	0	
受取補助金等				
受取国庫補助金	13,400,000	15,000,000	△ 1,600,000	文化庁予算減
受取地方団体補助金	9,000,000	9,000,000	0	
受取寄附金				
受取寄付金	120,000	120,000	0	
受取寄付金振替額	705,000	0	705,000	
雑収益				
受取利息	24,000	24,000	0	
受取配当金	450,000	484,000	△ 34,000	
雑収益	24,000	24,000	0	
経常収益計	58,558,000	62,207,000	△ 3,649,000	
(2) 経常費用				
事業費				
商品等期首棚卸高	13,525,000	13,525,000	0	
飲食材料仕入高	2,850,000	2,850,000	0	
商品仕入高	2,035,000	35,000	2,000,000	「依水園ガイド」製作による増加
商品等期末棚卸高	△ 15,325,000	△ 13,525,000	△ 1,800,000	
給料手当	14,000,000	13,000,000	1,000,000	1名正社員化による増加
福利厚生費	300,000	300,000	0	
旅費交通費	1,966,000	1,966,000	0	
通信運搬費	360,000	360,000	0	
減価償却費	2,535,000	1,730,000	805,000	事業費と管理費区分見直し
事務用消耗品費	435,000	435,000	0	
消耗品費	115,000	115,000	0	
修繕費	500,000	500,000	0	
印刷製本費	300,000	300,000	0	
光熱水料費	2,653,000	2,653,000	0	
賃借料	21,000	21,000	0	
保険料	962,000	962,000	0	
租税公課	895,000	895,000	0	
委託費	130,000	130,000	0	
支払手数料	1,000	1,000	0	
新聞図書費	45,000	45,000	0	
庭園維持管理費	8,000,000	6,000,000	2,000,000	
補助事業支払費用	500,000	30,000,000	△ 29,500,000	トイレ改修分は資産に計上
諸会費	96,000	96,000	0	
雑費	70,000	70,000	0	
管理費				
給料手当	120,000	120,000	0	
福利厚生費	20,000	20,000	0	
会議費	55,000	55,000	0	
交際費	360,000	360,000	0	
旅費交通費	319,000	319,000	0	
通信運搬費	40,000	40,000	0	
減価償却費	918,000	1,730,000	△ 812,000	事業費と管理費区分見直し
事務用消耗品費	50,000	50,000	0	
消耗品費	60,000	60,000	0	
修繕費	350,000	350,000	0	
印刷製本費	32,000	32,000	0	
光熱水料費	257,000	257,000	0	
賃借料	2,500	2,500	0	
保険料	1,110,000	1,110,000	0	
諸謝金	20,000	20,000	0	
租税公課	730,000	730,000	0	
支払手数料	18,000	18,000	0	
新聞図書費	5,000	5,000	0	
支払利息	600,000	600,000	0	
諸会費	7,500	7,500	0	
雑費	1,071,000	1,071,000	0	
経常費用計	43,114,000	69,421,000	△ 26,307,000	
評価損益等調整前経常増減額	15,444,000	△ 7,214,000	22,658,000	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	15,444,000	△ 7,214,000	22,658,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	15,444,000	△ 7,214,000	22,658,000	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	15,444,000	△ 7,214,000	22,658,000	
一般正味財産期首残高	216,967,502	217,877,354	△ 909,852	
一般正味財産期末残高	232,411,502	210,663,354	21,748,148	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				
一般正味財産への振替額	△ 705,000	0	△ 705,000	
当期指定正味財産増減額	△ 705,000	0	△ 705,000	
指定正味財産期首残高	1,386,108,983	1,387,782,979	△ 1,673,996	
指定正味財産期末残高	1,385,403,983	1,387,782,979	△ 2,378,996	
III 正味財産期末残高	1,617,815,485	1,598,446,333	19,369,152	